厚高インフォメーション

Atsuma High school Information　Vol. 211

▲ 入学式（４月11日）

平成２９年度を迎えて

今年度、新たに３人の教職員を迎えるとともに、４月11日、真新しい制服に身をつつみ、40人の新入生が厚真高校に加わりました。定員を満たす新入生は学校史上まれにみることです。これもひとえに本校を支えていただいている厚真町の地域の皆さまのご理解とご協力が形になったものと感謝しています。

入学式では、厚真高校という新しい環境での学業に希望をもつ、新入生のフレッシュな表情が数多く見られました。今年度も引き続き、加澤雅裕校長のもと、「ちいさくてもあったかい厚高」というキャッチフレーズを大切にしながら、教職員と生徒、保護者さまや地域の皆さまが一つになるような教育活動を展開して参りたいと思います。

３月１日には、３年生が本校を旅立ちました。主な就職先をいくつかご紹介します。株式会社三星、株式会社ダイナックス、ホクト株式会社、陸上自衛隊、航空自衛隊などです。また、専門学校には８人が進学しています。厚真高校で学んだことを生かして頑張っていることと思います。

今後も皆さまの変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。

厚真中央小学校５年　星野　陽平くん（11歳）

自画像を描きました。コンテというクレヨンの様な画材で書いた部分と絵の具が混ざらないように気を付けました。

厚真中央小学校５年 佐藤　涼太くん（10歳）

唇と歯が上手に描けました。自分のかけている眼鏡の形に描くのが難しかったです。

短歌

道の辺に早も花咲く蕗の薹散歩の足取り少し早める（新町　金本 年子）

せせらぎの音を聞きつつ歩みをり山鳩の声春を告げくる（本郷　矢部 慧子）

自販機にジュース買ゐ来る農業人四五人寄れば社交場となる（上野　宮崎 静恵）

あつま文芸友の会発行「文芸あつま　第二十二号」から抜粋

厚真町 地域おこし 交流企業人

地域おこし交流企業人とは、三大都市圏に勤務する大企業の社員が、そのノウハウや知見を生かし、一定期間、地方自治体に従事。その地域独自の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事し、企業と地方自治体が協力してまちづくりに取り組んでいくものです。

今月は、厚真町で働く２人の地域おこし交流企業人を紹介します。

小松（こまつ） 美香（みか）さん（35歳）

所　属　ワタミ株式会社
出身地　福島県会津若松市
着　任　平成27年７月（２年目）

三浦（みうら） 卓也（たくや）さん（41歳）

所　属　株式会社フェリシモ
出身地　大阪府柏原市
着　任　平成29年４月（１年目）

これまでどんなお仕事をしていましたか？

食品小売業で、商品の仕入れや加工などを経験しました。ワタミ株式会社では、居酒屋店舗に勤務し、店長を経験しました。

通信販売カタログ制作、ファッションブランドのマネージメント、ウェブディレクション・マーケティング、新規事業立ち上げ等に17年間携わってきました。

厚真町ではどんな活動をしていますか？

未来の子どもたちも今のような生活ができる社会、みんなが幸せに暮らせる社会が夢です。それには、コミュニティの取り組みや、そこに住んでいる人の力が要となると信じています。そんな思いを実現できたらと、ワタミとして新しい事業を起そうと計画中です。また役場の仕事として、こくわジャムの製造や、特産品のPR等に関わらせていただいています。

ローカルベンチャースクールのお手伝い、ハスカップのブランド化、グリーンツーリズム推進、6次産業化推進、特産品の開発・販売促進、ふるさと納税PR、といった役場のお仕事に、自分の会社で培ったスキルを生かせればと思います。

今後の目標や抱負を教えてください

健康的な食と、生活と、電気を提案し、地域の人が集まる場を作りたいです。そして地域を元気にする、地域に根付いた事業所へ育てていきます。

今年から同じ立場で働く三浦さんと一緒に、何か新しいことができるのではないかとワクワクしています。

都市部と生産地をつなぐ、食に関する会社の新事業を厚真町で立ち上げるのが当座の目標です。今は単身赴任ですが、事業が形になった暁には、中学3年の長男と3歳の次男、妻と一緒に厚真町に移り住むことを考えています。長男の夢は北海道大学で森林生態学を学び樹木医になること。その夢を叶えてあげるためにも、がんばりたいと思います。

町民へひとこと

厚真町の空が広いこと、四季折々の自然の恵みが味わえることを楽しんでいます。森、水田、大沼野営場の雰囲気が好きで、ダムの放水も楽しみです。

町民の皆さんは素敵な方ばかりで、感謝しています。これからもたくさんのことを教えていただき、ご協力をお願いすると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

実は今年、大厄です。でも大厄っていうのは大きな役目が回ってくる年で、それがうまく務めあげられるようにがんばるものなんだ、とある神主さんから教えられました。厚真町であずかった大役、務めあげて町のために少しでも貢献できるようがんばりたいと思います。ぜひよろしくお願いいたします！